レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和3年9月22日	使用開始日			
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西　宗治	化学療法委員会承認年月	年　　月
レジメン名	キイトルーダ＋GEM+CBDCA				
疾患名	乳がん	適応の備考	PD-L1陽性（CPS≧10）のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌		
適応分類	進行・再発				
1コース日数	21　日間	総コース数	コース	催吐性リスク	軽度（KEYNOTE-355試験：PD-L1陽性(CPS≧10)悪心 51.2%）
抗がん剤投与量・投与日	キイトルーダ200mg/body　day1　ゲムシタビン1000mg/㎡　day1.8、カルボプラチン2AUC/body　day1、8				

治療スケジュール　・　投 与 日 程（ 投 与 日 は ● ）　　(day)

投与順	ﾙｰﾄ・方法	薬　剤　名	投　与　量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注		/																						
			/																						
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	キイトルーダ	200 mg / body	30 分	●																				
			/																						
3	主ルート	アロキシ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg/50mL	1 本 / body		●							●													
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●							●													
4	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●							●													
	点滴静注	ゲムシタビン注	1000 mg / ㎡	30 分	●							●													
			/																						
5	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●							●													
	点滴静注	カルボプラチン注	2 AUC / body	60 分	●							●													
			/																						
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●							●													
	点滴静注		/																						
			/																						

【投与上の注意】

キイトルーダ：0．2～5μmのインラインフィルターを使用して投与する。

キイトルーダ：希釈後の最終濃度を1～10mg/mLとする。

キイトルーダ：Infusion reaction経験例では次回より投与前1.5時間（±30分）に以下の薬剤で前処置を行う。

・レスタミン5錠経口投与（又は同等の抗ヒスタミン薬）

・アセトアミノフェン500～1,000mg経口投与（又は同等の解熱剤）

ゲムシタビン：100mLで希釈し、30分で投与。